

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌

まなぶだより

令和7年度 最終号



学びの丘イメージキャラクター
まなぶ



Contents

- 「専門性の向上を目指す研修〈選択研修〉が変わります。
- 令和7年度和歌山県教育センター学びの丘研究報告会
- あなたに寄り添う動画研修パッケージ
- 学びのポケット

「専門性の向上を目指す研修〈選択研修〉が変わります。

学び続ける教職員を支えるため、学びの丘では専門性の向上を目指す研修〈選択研修〉を見直しました。インターバル研修を中心に、実践と理論の往還を実現し、受講者の学びをより深めていきます。

【学びの丘が目指す研修のキーワード】



受講者が主体的に参加

目標設定や振り返り等を通して、常に自身の目標や取組、課題等を踏まえながら受講できるように演習や交流等も充実



受講者が悩み考える過程を重視

個人やグループで実践方法や課題解決の道筋を探り、『どうしたらいいのだろうか?』と悩み考える過程を重視



受講者の実践意欲の向上

理論の学習にとどまらず、所属校での実践につなげたいくなるような課題設定や内容の充実

様々な形態を組み合わせて実施！！

対面研修

場の空気と熱量の共有



具体物の活用や体験、対話を重視し対面ならではの環境での学びを提供します。

リアルタイム・オンライン

効率と利便性を最大化



移動の負担を軽減し、オンラインならではの利点を生かした演習や情報共有を通して、効率的な学びを提供します。

オンデマンド研修

個別最適な学びの充実



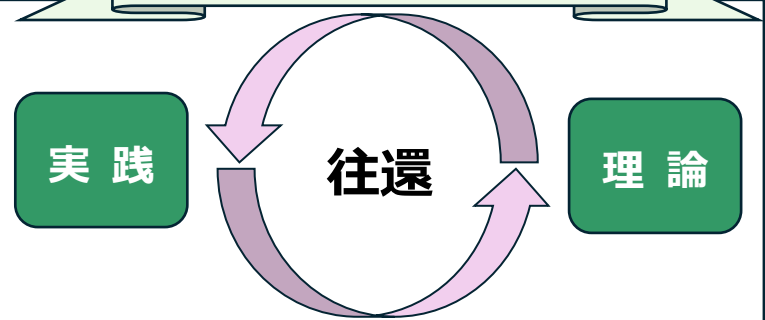
自分のペースでじっくりと学べ、個々の状況や目的に応じて柔軟に取り組める研修を提供します。

インターバル研修を大幅に拡充！！

7研修（20講座）へ拡充

インターバル研修は理論を学ぶだけでなく、**実践との振り返りのサイクルを繰り返す**ことを目指した研修です。令和7年度は1研修（3講座）でしたが、令和8年度から**大幅に増やします**。

複数回の研修と所属校での実践を往還することで、より多くの学びや気づきに出合えることを目指します。



※「令和8年度 専門性の向上を目指す研修」については、「**構想図**」及び「**選択研修一覧**」を現在作成しています。「**構想図**」には、研修を見直した背景や工夫・改善点も掲載しています。これらの資料は、4月1日以降に学びの丘ウェブページで公開しますので、研修計画や受講の参考として、是非ご活用ください。



令和7年度和歌山県教育センター学びの丘研究報告会

令和8年1月30日に実施した今年度の研究報告会では、島谷千春氏による講演「子どもの学びの転換と大人の学びを一緒に考える」に続き、学びの丘研修員が所属校での1年間の取組と成果を報告しました。最後に、学びセッションを行い、参加者同士で教職員の学びについて意見交換をしました。

【講演】 島谷千春氏（NITS 審議役）

Be the Player
圧倒的な当事者性を育む



伴走者への役割転換

島谷氏は、こどもが自ら動く「Player」になる鍵として、「**こどもの学びと大人の学びは相似形である**」という視点を示されました。こどもの**学びを変える**には、まず**大人の学び方を変える**こと。教員自身が問いをもち、伴走されながら試行錯誤して学ぶ姿こそが、こどもたちにとって自立した学びの最良のモデルになるのです、と語られました。

研修員報告

【報告1】 日高川町立川辺西小学校 井原教諭

児童の運動有能感を高める授業づくり
ー 跳び箱運動における動感の形成を通してー



児童が体の動きの感覚を言語化・視覚化する取組に対し、多くの共感が寄せられました。



【報告2】 和歌山市立雑賀小学校 細田教諭

自立した学習者を目指した授業構想
ー 個々の探究的な学びを主とした社会科学習を通してー

個々の探究的な学びを支える単元構想とリフレクションの手法が教員の皆さんから注目を集めました。

学びセッション（特別版）学び合い、支え合う“語りの場”

今回は学びの丘指導主事がファシリテーターとして参加

「教職員の学びについて語り合おう～学び続ける教職員を目指して～」をテーマに参加者同士で意見交換を深めました。参加者のアンケートの一部を紹介します。

小学校の先生との交流が新鮮で、多くの気づきを得ました。**他校種にも学びのヒントがあると感じました。**

少人数で互いの実践や想いを率直に語り合えたことが、**刺激や共感につながった。**

他校の先生との対話をする中で**自校の研修を見直す**きっかけになった。

他の先生方も同じ悩みを抱えていると知り、**相談し合うことで心が軽くなった。**



教員である皆さん自身の「**学びの姿**」は、こどもたちにとってのモデルになっていますか。

- ・ 研修や学びにおいて、「客人」ではなく、自ら問いを立てる「Player」になれているか。
- ・ 「何のために学ぶのか」を、語り合い、試行錯誤する「伴走」の関係を築けているか。
- ・ 失敗にくじけず挑戦を楽しむ教員としての姿を、こどもたちに見せているか。



ぜひ振り返ってみてください。

あなたに寄り添う動画研修パッケージ

動画研修パッケージとは

動画研修
パッケージ
一覧はコチラ



「自主的な学び」に寄り添う

学びの丘では、教員である皆さんの自主的な学びに寄り添えればと、「動画研修パッケージ」を作成しています。動画と資料等がパッケージになっており、校内研修でも活用していただけます。

申し込み不要、今すぐ学びをスタート

申込不要で、教員研修プラットフォームからアクセス可能です。今困っていること、もっと知りたいこと、そのヒントを探してみてください。

新たに以下3本の動画を作成中

今さら聞けない
理科実験のキホン!



管理職のための 学校 DX 講座 (仮)

情報セキュリティや著作権などの幅広い分野において留意すべき点を知り、教職員の情報活用能力向上や意識改革等の教育 DX について解説する講義動画

職場の情報活用能力を高めたい!



教員のための実験基礎・基本ガイド (小学校6年生【粒子】) (仮)

教員が、児童の安全な実験実施を支えるために必要な基礎・基本の知識と安全管理を身に付け、安心して理科の授業を実施できるようにするための講義・実演動画



児童生徒理解について -アセスメント- (仮)

アセスメントに対する理解を深め、児童生徒が抱える課題について対応できる多角的な視点と実践方法について解説する講義動画

気になるあの児童生徒にどう関わるか?

学びの ポケット

このコーナーでは、「学び続ける教職員」であるために役立つ情報を紹介していきます。

全国教員研修
プラットフォーム
(Plant) はコチラ



現在、全国教員研修プラットフォーム(Plant)では、先生方の授業づくりのヒントとなる3つの統計教育に関するオンデマンド研修を公開しています。目的に合わせて選んでみませんか?

統計教育は現代の

「読み・書き・そろばん」

Society 5.0 時代において、「データから何を読み取り、どう判断するか」は最低限備えるべき必須事項です。

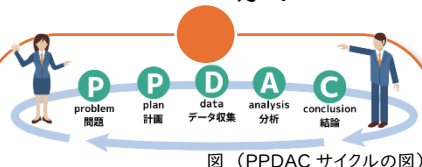


図 (PPDAC サイクルの図)

どの教科にも活用することのできる 統計的な見方・考え方研修講座

あらゆる教科で使える探究手法「PPDAC サイクル(問題・計画・収集・分析・結論)」を、具体例とともに分かりやすく紹介しています。



統計を活用した 授業づくり研修講座

データを単なる数値としてではなく、背景にある「ストーリー」を語るための道具として活用する、より深い分析と授業づくりのポイントが学べます。



新学習指導要領が目指す統計 データ活用力研修講座

なぜ統計教育が重視されているのか? 社会の変化と、こどもに必要な情報の背景を見抜く批判的思考の重要性から理論的に説明しています。

図 (PPDAC サイクルの図)